

福山駅前広場協議会分科会（広場活用連携）

第1回とりまとめ

2026年（令和8年）1月21日

福山市 企画財政局 福山駅周辺再生推進部 福山駅周辺再生推進課

意見交換①「たたき台（2つの案）への意見出し」

項目	たたき台①	たたき台②	両案
周辺とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> 東西や南方面へ歩いて往来がしやすそう バスのロータリーが大きすぎると思う 	<ul style="list-style-type: none"> 東西の往来は現状より改善されるが、南にバス乗降場が残ることで、南方面への分断感が気になる 	<ul style="list-style-type: none"> 広場を活かすためにはアイネスやNEWCASPA、三之丸町、伏見町との連携が必要 伏見町は広場とつながるが、三之丸（NEWCASPA）は道路があり、広場とつながらない。三之丸への通行量は減りそう 駅前広場の活用と合わせて国道2号までの活用を図って、中央公園・霞通商店街を連絡させたい アイネスフクヤマ ⇄ 天満屋の横断歩道ができるのはよい 東西南北が駅前広場を経由して行き来できるのはよい 駅南だけでなく、駅北も一体として考える必要がある 高齢者に向けた動線の配慮が必要 広場と周辺エリアをつなぐには、歩道空間を魅力的にすること
使いやすさ・過ごしやすさ	<ul style="list-style-type: none"> 広場が広い方が様々な使い方ができてよい 広場の面積が広すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> バス乗降場のすぐ隣に広場があるのは危険ではないか（イベント時やごどもの飛び出し） 	<ul style="list-style-type: none"> 広場には大屋根が必要（気候が厳しいため） どこに何があるか分かる案内が必要 防災のことも考えて駅前広場を作っていく 広場の活用によって集客に影響がある。どう使うかが大事 わざわざ広場に行くコンテンツや周辺と連携した仕掛けがあるとよい
福山らしさ			<ul style="list-style-type: none"> 福山城の遺構を見せる工夫をした方がよい 福山の都市の魅力を表現したデザインがよい
その他	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスが駅から近いし、駅から濡れずに行けるのでよい 伏見町路線バス乗降場は、利便性の低下、安全性、交通渋滞の課題がある 	<ul style="list-style-type: none"> 南側にバスターミナルを残すことは必要であり、広場もあるのでよい 路線バスは②の方が集約されていて分かりやすそう バスの小型化なども見据え、広場は小さく始め、後々大きく育てていく 	<ul style="list-style-type: none"> 今の駅前は、一刻も早く変えなければならない 人の交流を促す、にぎわいを創出、駅周辺を活性化するために広場は必要 交通結節機能とそれを待つ空間を快適にすることが商業の活性化につながる 観光バスの位置はもう少し駅に近い方がよい 大型、中小型バスは駅北口へ戻すことも考えていくのがよい 伏見町の中の一般車・荷捌きなどの動線は考えるべき

意見交換②_1 『日常的に広場がどのように（誰が、どんなふうに）使われていると良いか』

中高生・若者

- ・ 放課後に集まって交流
- ・ 勉強や趣味を共有
- ・ 青春（遊び、暇つぶし）

子育て世代・ファミリー

- ・ 親子で遊ぶ
- ・ 親子がゆっくり過ごす
- ・ こどもが遊ぶ・走る
- ・ 日常的な外遊び
- ・ 子育て世代のコミュニティづくり

近隣住民

- ・ 気軽に運動できる、簡易遊具
- ・ ピクニック気分で過ごせる
- ・ 定期マルシェ
- ・ 福山市内の産物、海産物をマルシェで販売

ビジネスマン

- ・ 仕事帰りの人たちが楽しく集える
- ・ 待ち合わせや飲食での利用
- ・ ひなたぼっこをしながら仕事

観光客

- ・ 時間つぶしや観光の合間の休憩
- ・ 福山に来た人がとどまる
- ・ 市をPRやイベント情報をまとめたパネルの設置

利用者全般

- ・ そちら中でいろんな人が好きなことをしている
- ・ 1人でもいられる仕掛けがあるとよい
- ・ 多様な人が過ごしたいように過ごせる

周辺とのつながり

- ・ NEWCASPAや伏見町の路面店がテーブルを出して営業している
- ・ 周辺との連携を促すための案内看板の設置

意見交換②_2 『駅周辺を魅力的にしていくために、広場を活用して取り組んでみたいこと』

日常

- ・ 座れる場所を増やし、滞留時間を増やす
- ・ 多様な過ごし方
- ・ 何気なく立ち寄れる、くつろげる空間
- ・ ドッグラン（日常的の目的地）
- ・ ハイラインのようなまちづくり
- ・ 両サイドにお店、中央は人が過ごす構成
- ・ 駅周辺の今と昔の変化を案内・展示
- ・ まち歩きの起点
- ・ 時間帯限定のカフェやショップ
- ・ キッチンカーの常設
- ・ 周辺施設の情報をまとめたパネル等の設置
- ・ ばら園

運営・管理

- ・ 管理の仕方、運営の仕方も考える必要がある
- ・ 駅周辺事業者（町内会、商店会など）で資金を出し、管理運営する組織体

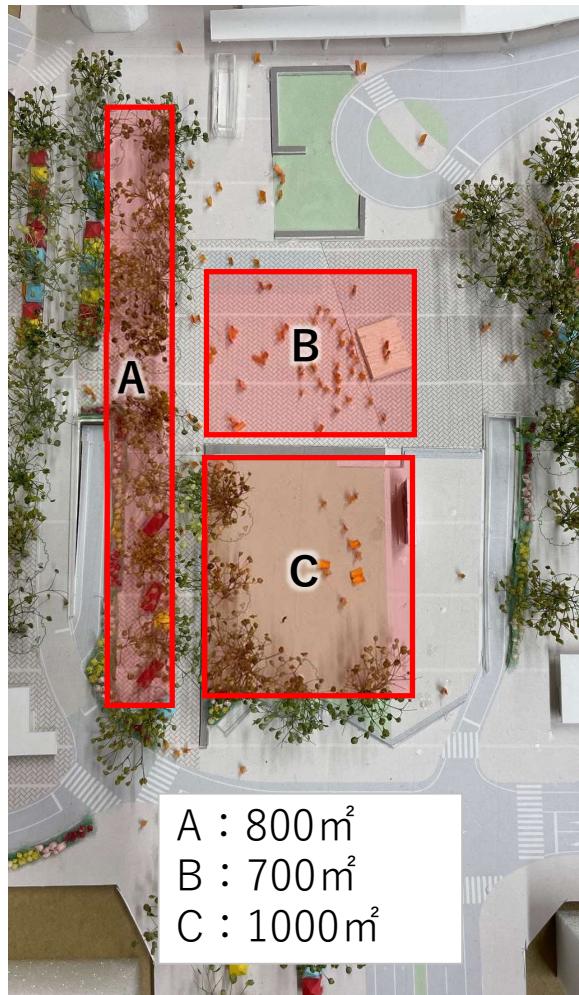
非日常（大規模）

- ・ 音楽イベント
- ・ ライブやコンサート
- ・ 夏祭りのイベント よさこい
- ・ 二上りのメイン会場
- ・ ばら祭のサブメイン会場
- ・ 映画鑑賞会、パブリックビューイング
- ・ 大道芸・パフォーマンス+屋台
- ・ 学生祭

非日常（中規模）

- ・ マルシェ、手づくり市
- ・ 定期的な朝市、週末に開かれる市場
- ・ 郷土食フェア
- ・ クリスマスマーケット
- ・ 中学、高校生の活躍の場→部活動の発表
- ・ さんすて、JR関係のイベント
- ・ フクヤマニメのメイン会場
- ・ わんこイベント

(参考) 検討中の駅前広場と中央公園との対比



検討中の広場 (たたき台①)

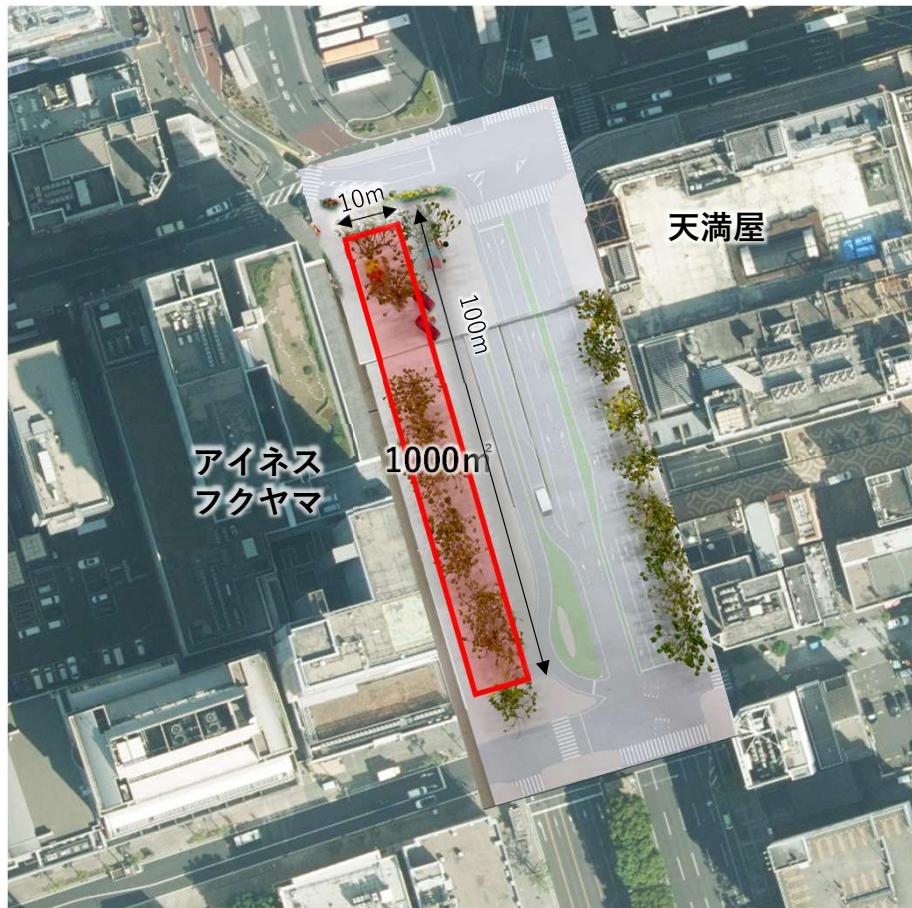


検討中の広場 (たたき台②)



中央公園

(参考) 検討中の駅前大通りと美術館前プロムナードとの対比



検討中の駅前大通り

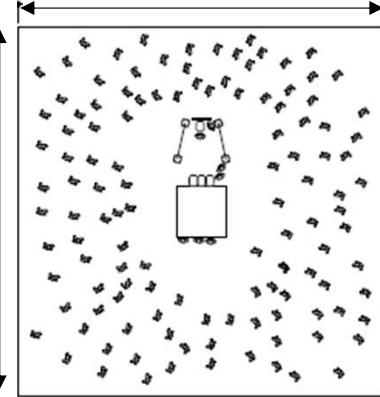


美術館前プロムナード

(参考) イベント等の実施イメージ

祭り

20m



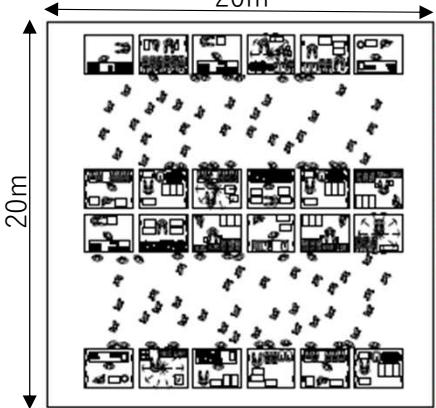
参照：建築学会 設計資料集成



■ 益踊り(日暮里駅前広場)
密度: 0.3~0.45人/m²
自由な速さで歩き、一方通行の流れなら無理なく人を追い越すことができる。一方通行の場合の交通量は最大交通量の20~50%以下。(建築学会設計資料集成)

マルシェ

20m

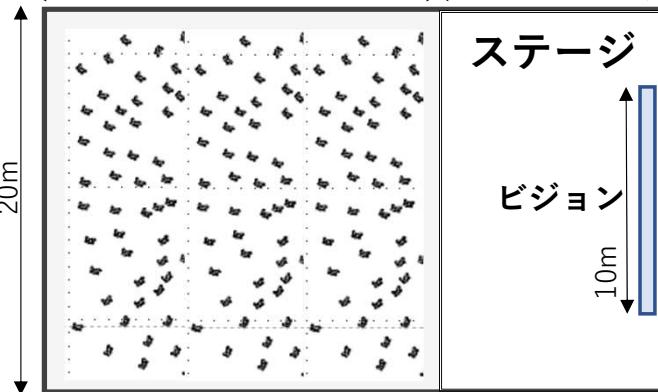


参照：建築学会 設計資料集成
■ フリーマーケット
1店舗当たりの専有面積: 5m² (参考数値)
1店舗当たりの占有面積を5m²として24店舗

音楽イベント、ライブ、コンサート

20m

10m



ステージ
ビジョン
10m

密度1人/m²として、観客が400人

ストリートライブ

20m



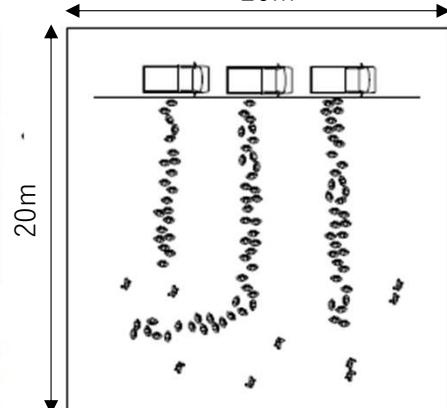
参照：建築学会 設計資料集成



■ ストリートライブ
距離: 1.2~2.1m (社会的距離)
人が集まる時等個人的な行為でない場合腕を伸ばし相手に触れることができる。職場の同僚や仕事上の気軽な集まりにおける距離。(建築学会設計資料集成)

キッチンカー

20m



参照：建築学会 設計資料集成



■ キッチンカーの行列(横浜・赤レンガパーク)
線密度: 2.5人/m(1列)、3.5~4.5人/m(2列)
線密度とはその群衆の向いている方向の1m当たりの人数である。団子状になった行列の場合で9人/mを超える場合もある。(建築学会設計資料集成)

本日ご議論いただきたいこと

第1回

前回の議論

●駅周辺が良くなる駅前広場・駅前大通りとは？

意見交換1：『たたき台（2つの案）への意見出し』

意見交換2：『駅周辺と一体的につながる駅前広場・駅前大通りの使い方』

- ①日常的に広場がどのように（誰が、どんなふうに）使われると良いか
- ②駅周辺を魅力的にしていくために、広場を活用して取り組んでみたいこと、アイデア（日常／非日常）

本日ご議論いただきたいこと

第2回

●周辺が連携して広場を活用する具体的なアイデアは？

第1回の振り返り

意見交換1：『駅前広場を活用していくために必要な施設は？』

意見交換2：『駅前広場・大通りの整備効果を、どうしたら自分たちのエリアとの相乗効果につなげていけるか』
(「自分でできること」／「他の団体等と連携してできること」)